

平成29年12月の
国内向け／輸出向け出荷の動向
図表集

平成30年2月7日

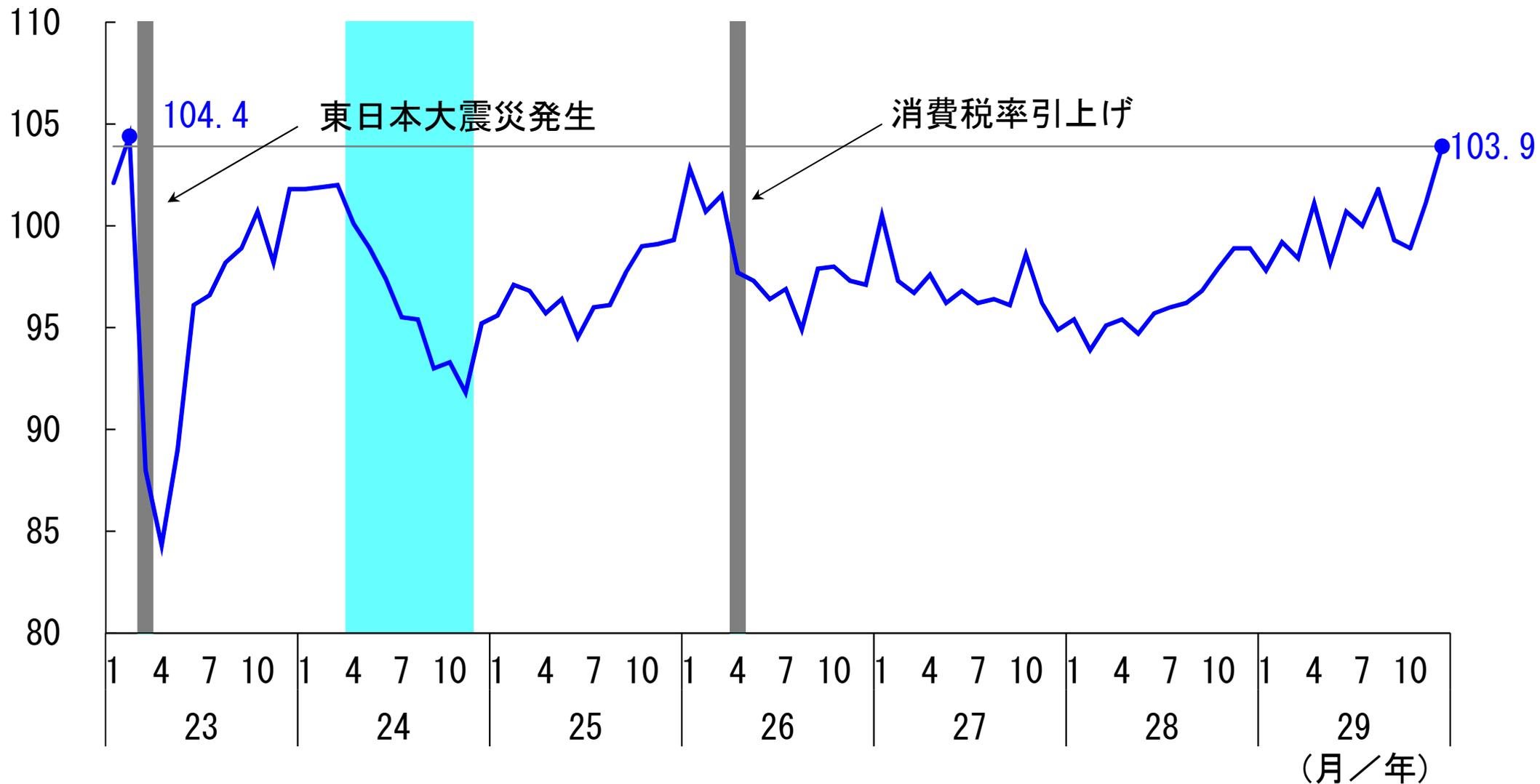
経済解析室

URL : <http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/utiwake/result-1.html>

鋳工業出荷指数の動向

- ・平成29年12月の鋳工業出荷指数は103.9(前月比2.7%)と2か月連続の上昇。
- ・平成23年2月の104.4以来の指数水準。

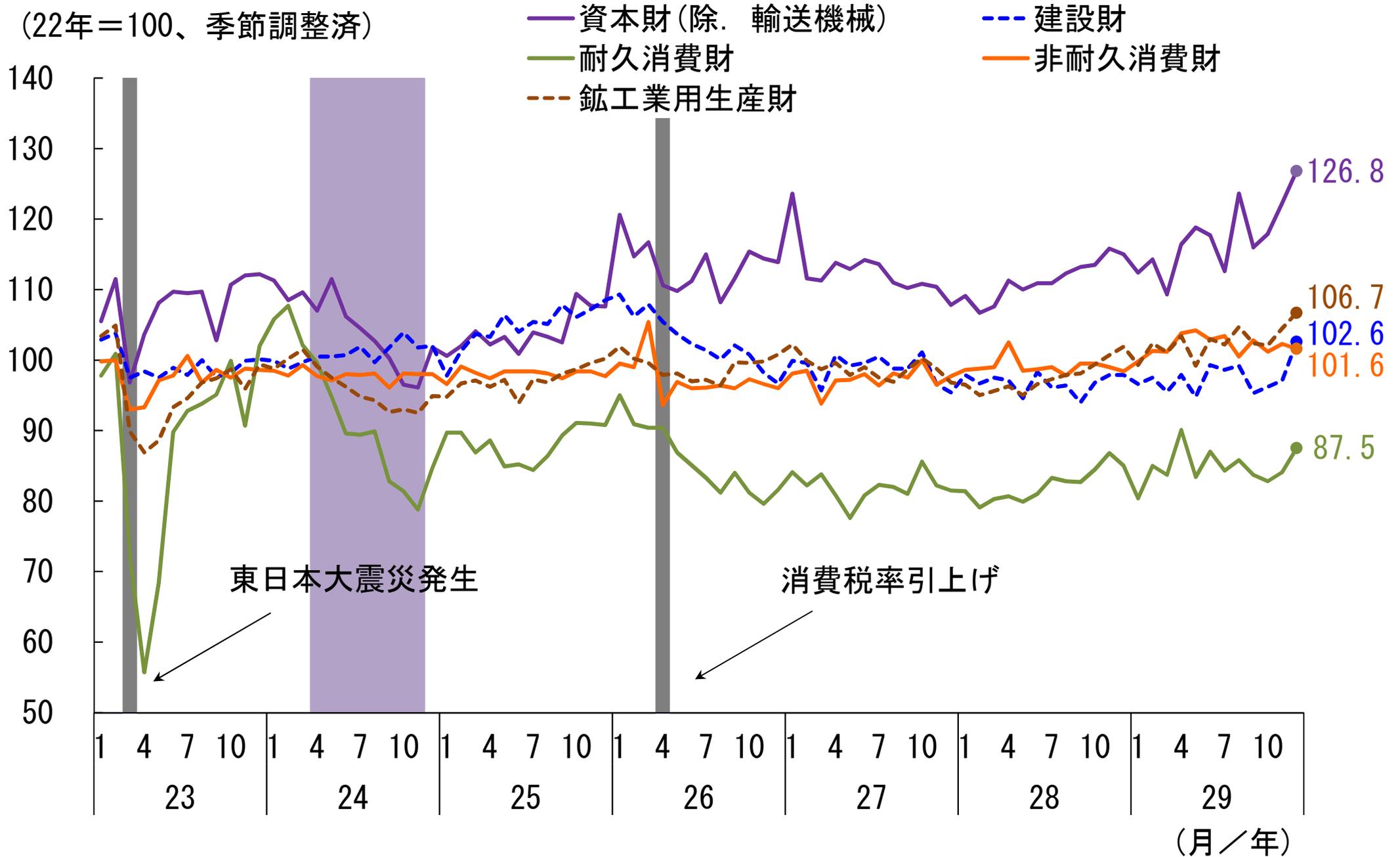
(22年=100、季節調整済)



(注)水色のシャドー一部分は景気後退局面。

財別出荷指数の動向

(22年=100、季節調整済)



(注) 紫色のシャド一部分は、景気後退局面。

平成29年12月の鉱工業出荷内訳表の状況

出荷・国内向け出荷・輸出向け出荷

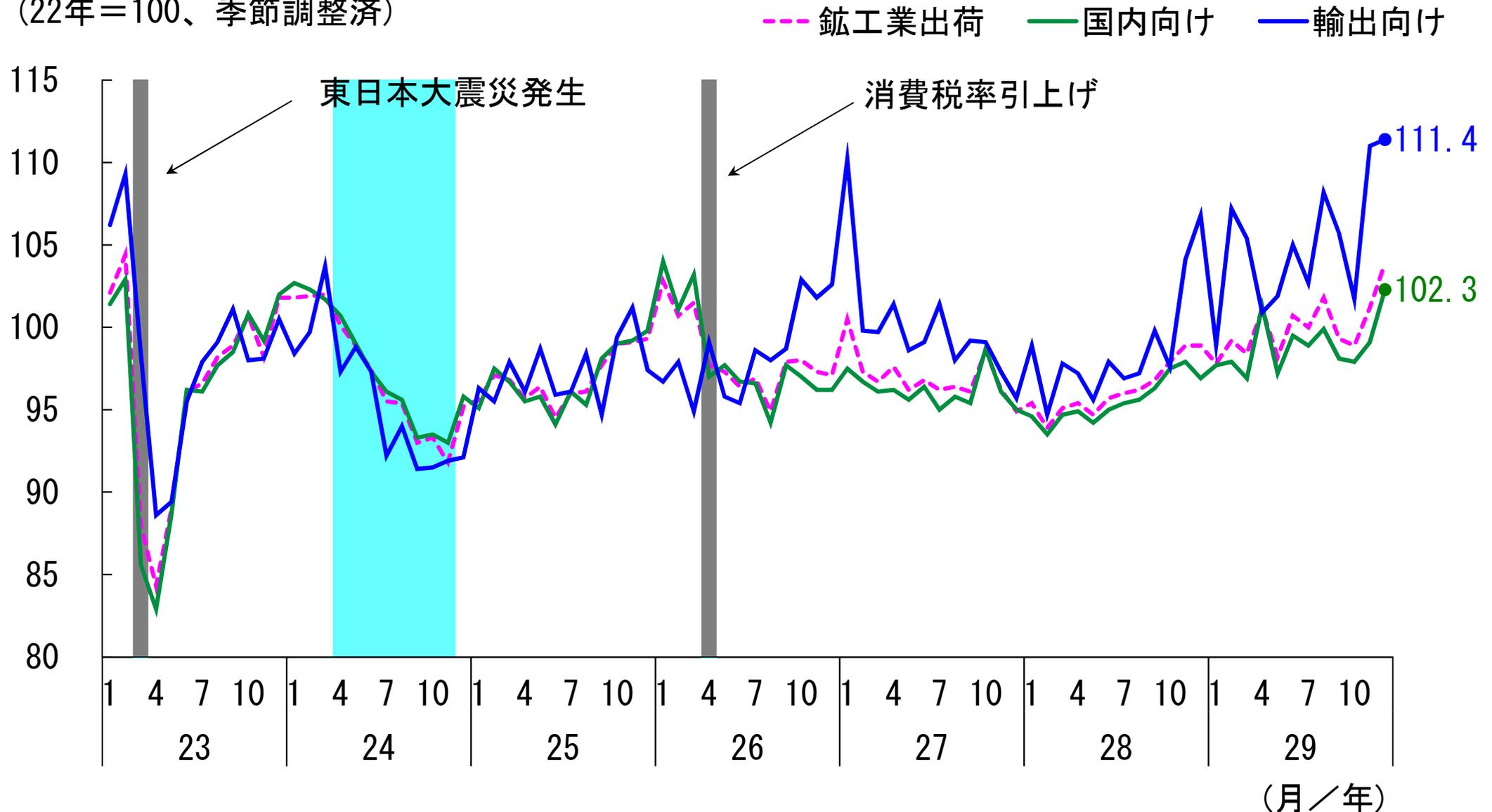
月次	出 荷	輸 出	国 内
季調済指数 前月比	103.9 2.7%	111.4 0.4%	102.3 3.2%
指数水準	H23. 2 104. 4以来 I H20. 1, 2 118. 2 II H20. 3 118. 1 III H20. 5 116. 4	H20. 5 115. 4以来 I H20. 1 118. 3 II H20. 2 116. 6 III H20. 3 116. 3	H26. 3 103. 2以来 I H20. 1 118. 3 II H20. 3 118. 2 III H20. 2 118. 1
前月比の動き	2か月連続+ (H29.11～当月)	2か月連続+ (H29.11～当月)	2か月連続+ (H29.11～当月)
前月比幅	H29. 4 2. 7%以来 I H23. 6 8. 0% II H23. 5 5. 6% III H22. 1 4. 3%	H29. 11 9. 1%以来 I H29. 11 9. 1% II H21. 10 8. 7% III H22. 1 8. 6%	H29. 4 4. 5%以来 I H23. 6 8. 5% II H23. 5 7. 0% III H29. 4 4. 5%

(注) I～Ⅲは22年基準における最大値から上位3位までの数値

国内向け／輸出向け出荷の動向

・平成29年12月の鋳工業出荷を国内向け／輸出向け別にみると、国内向けは102.3(前月比3.2%)と2か月連続の上昇、輸出向けは111.4(前月比0.4%)と2か月連続の上昇。

(22年=100、季節調整済)

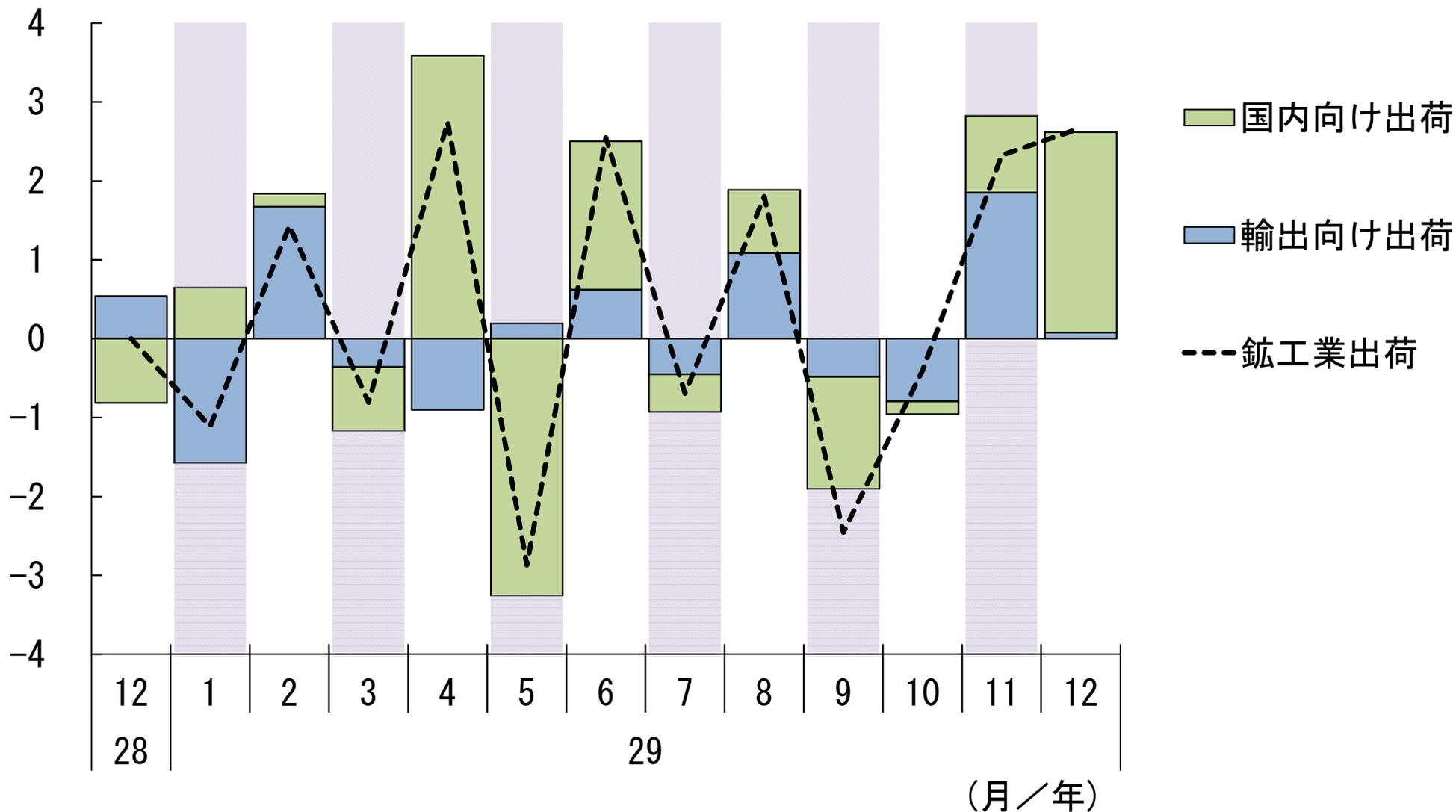


(注) 水色のシャド一部分は景気後退局面。

鋳工業出荷前月比 国内向け／輸出向け別の影響度合い

- 平成29年12月の鋳工業出荷は国内向け、輸出向けともに上昇したため、前月比2.7%の上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

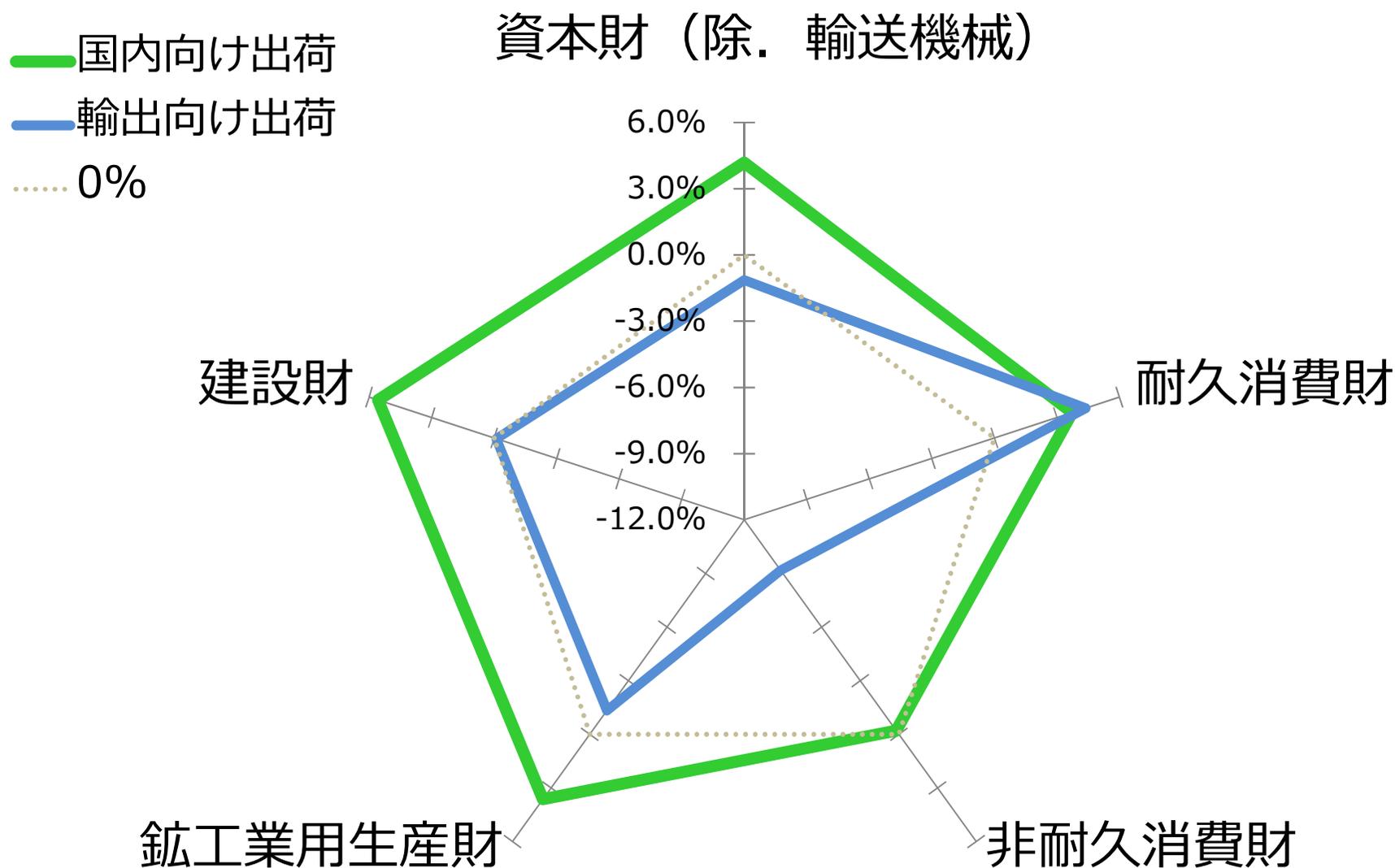


主要4業種、財の出荷前月比 国内／輸出向け出荷の影響度合い

業種別分類	出荷前月比 (%)	国内寄与度 (%ポイント)	輸出寄与度 (%ポイント)
輸送機械工業	7.1	7.55	-0.12
はん用・生産用・ 業務用機械工業	4.7	4.69	-0.59
電子部品・デバイス工業	3.3	3.20	0.79
化学工業(除. 医薬品)	-0.7	-0.97	0.45

財別分類	出荷前月比 (%)	国内寄与度 (%ポイント)	輸出寄与度 (%ポイント)
鉱工業用生産財	2.1	2.66	-0.36
資本財(除. 輸送機械)	3.7	3.15	-0.28
建設財	5.7	5.14	-0.01
耐久消費財	4.0	2.97	0.90
耐久消費財のうち 乗用車・二輪車	6.0	5.34	1.15
非耐久消費財	-0.7	-0.19	-0.60

国内向け／輸出向け財別出荷指数前月比比較（平成29年12月）

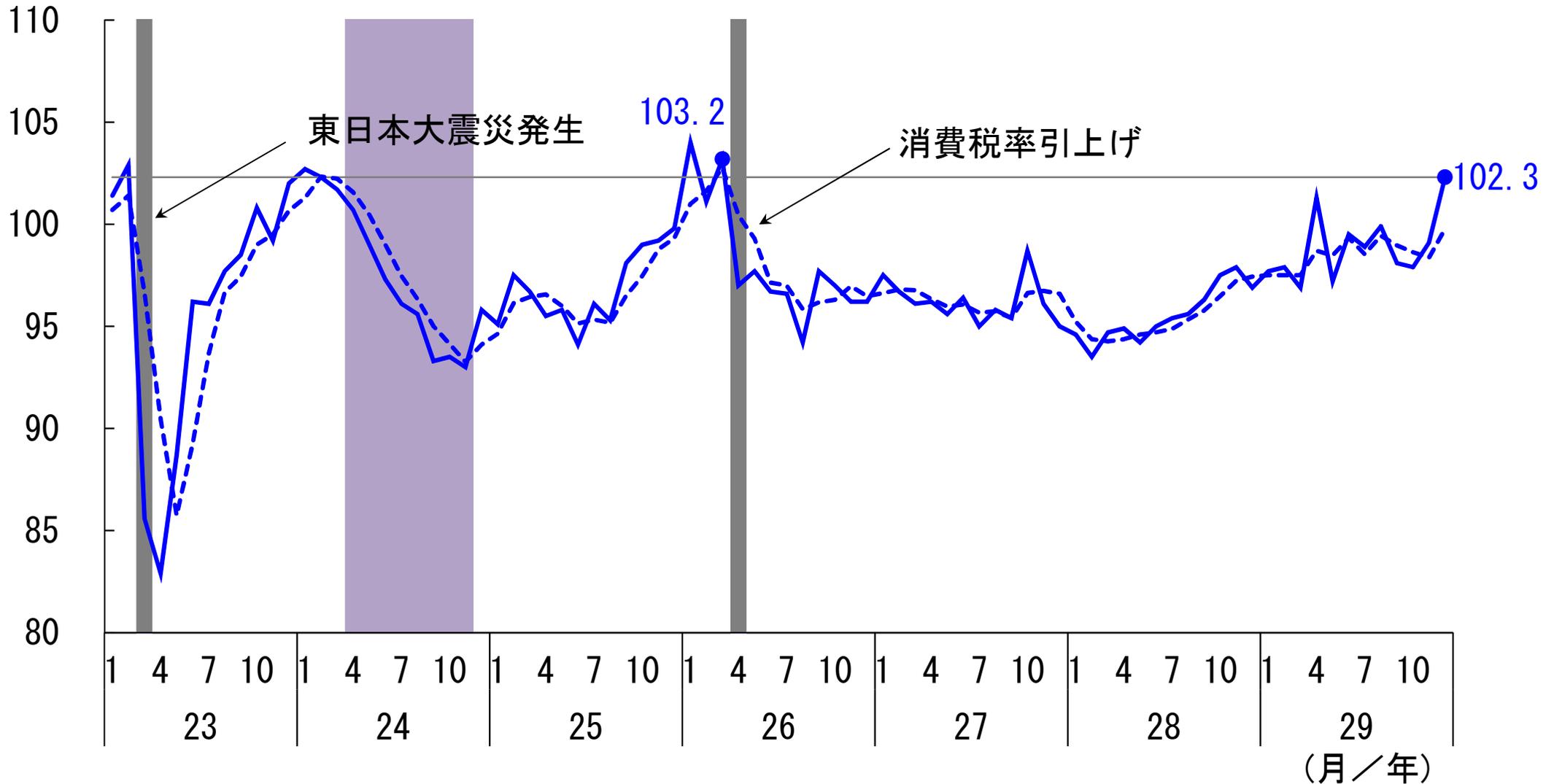


国内向け出荷指数の動向

- ・平成29年12月の国内向け出荷指数は102.3(前月比3.2%)と2か月連続の上昇。
- ・平成26年3月の103.2以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)

— 国内向け出荷指数 - - - 3ヶ月後方移動平均

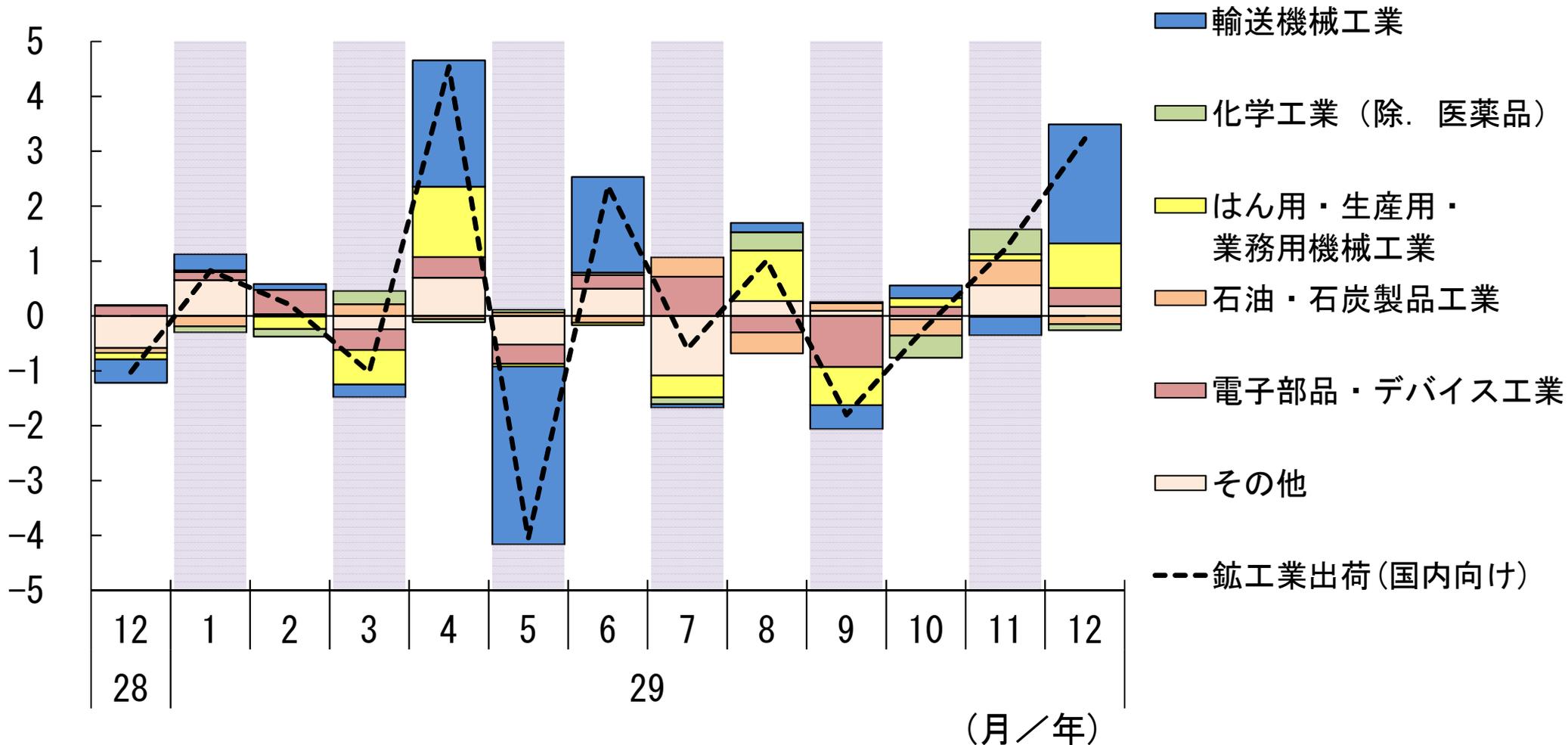


(注) 紫色のシャド一部分は景気後退局面。

国内向け出荷前月比 業種別の影響度合い

- 平成29年12月の国内向け出荷を主要業種別にみると、石油・石炭製品工業などが低下したものの、輸送機械工業などが上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



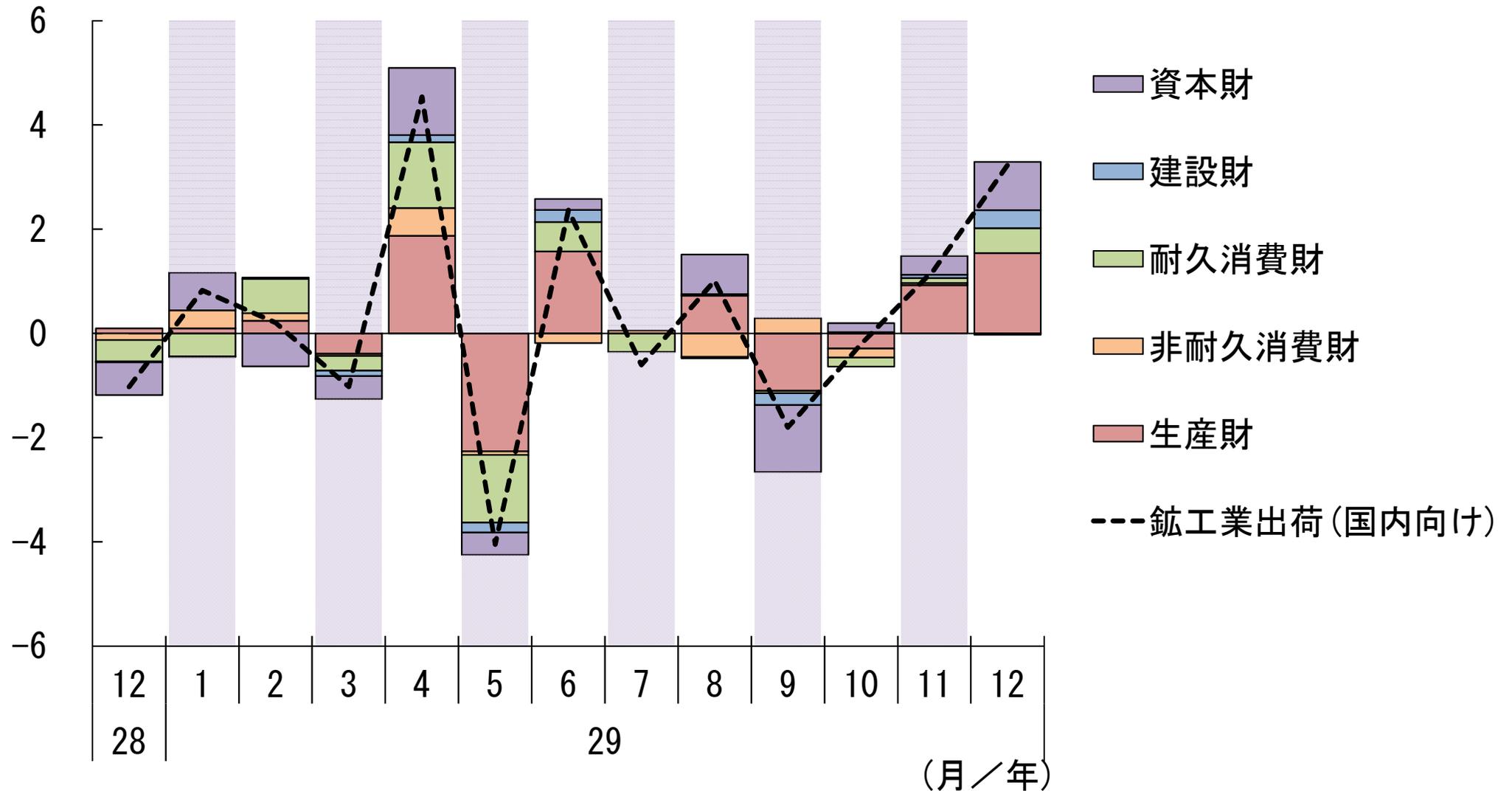
(注)主要業種とは、国内向け出荷(ウエイト8028.51)のうち、ウエイトが大きい5業種を選定。

具体的には、輸送機械工業(国内向け、ウエイト1658.38)、はん用・生産用・業務用機械工業(同、同796.12)、化学工業(除. 医薬品)(同、同717.06)、石油・石炭製品工業(同、同574.89)、電子部品・デバイス工業(同、同457.59)。

国内向け出荷前月比 財別の影響度合い

- 平成29年12月の国内向け出荷を財別にみると、非耐久消費財が低下したものの、生産財などが上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



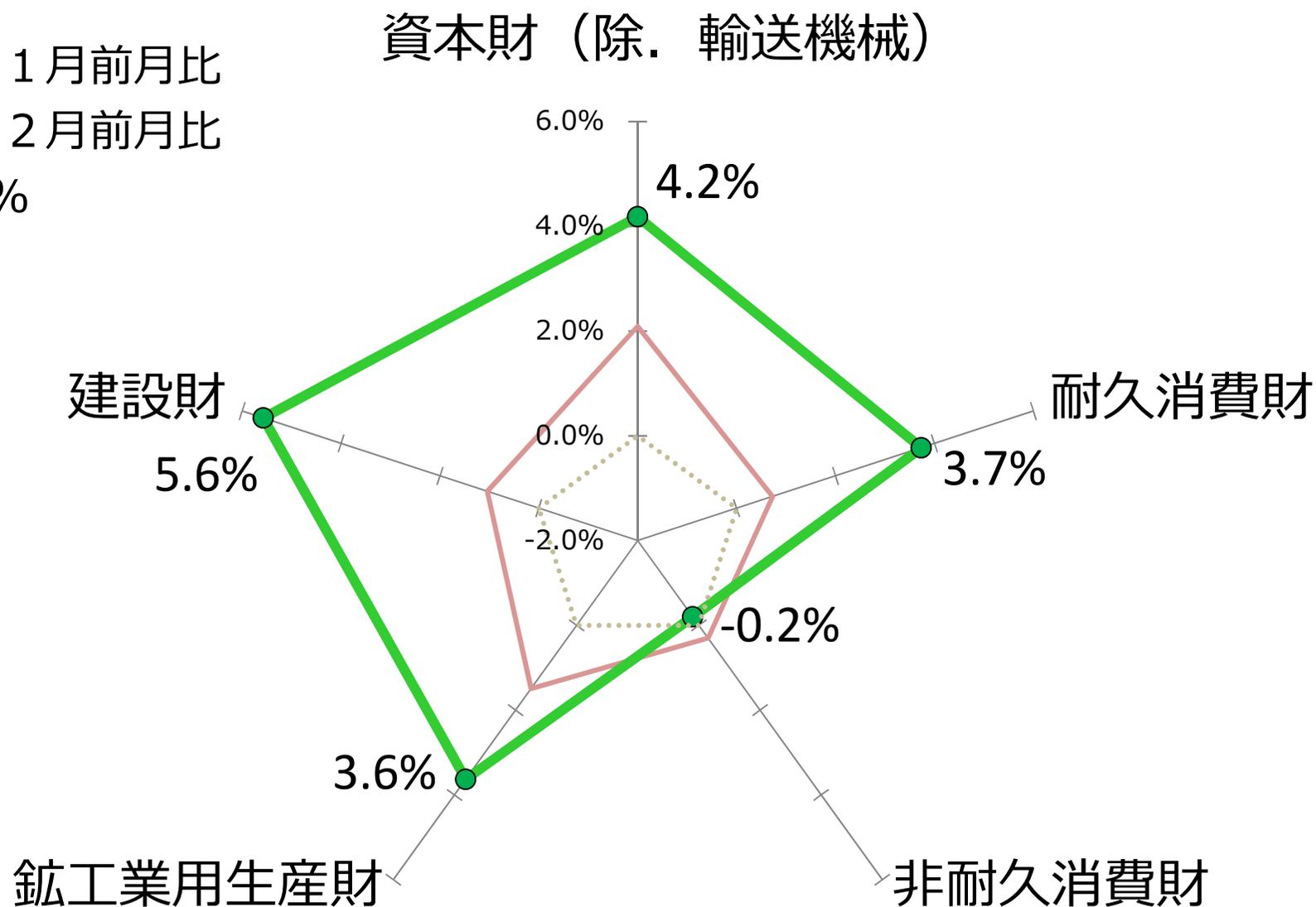
平成29年12月の国内向け出荷前月比 財別・業種別の影響度合い

財別分類	前月比(%)	寄与率(%)
鉱工業	3.2	95.2
鉱工業用生産財	3.6	46.4
輸送機械工業	14.2	28.4
電子部品・デバイス工業	4.3	9.0
資本財（除. 輸送機械）	4.2	16.8
はん用・生産用・業務用機械工業	7.2	20.4
非鉄金属工業	18.2	2.2
耐久消費財	3.7	14.1
輸送機械工業	7.1	20.8
その他工業	2.9	0.2
建設財	5.6	10.2
金属製品工業	10.6	8.2
鉄鋼業	3.0	0.7
その他用生産財	-0.5	-0.8
石油・石炭製品工業	-2.2	-2.0
化学工業（※）	-111.5	-1.6
非耐久消費財	-0.2	-0.8
その他工業	-7.8	-0.4
プラスチック製品工業	-2.6	-0.2

寄与率：出荷全体の変動に対して影響を及ぼした、財別・業種別の影響の度合い。全ての寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

(注)試算値。医薬品については、実績データではなく、暫定的な推計値を投入して、寄与を計算している。

国内向け財別出荷指数前月比の比較（平成29年11月、12月）

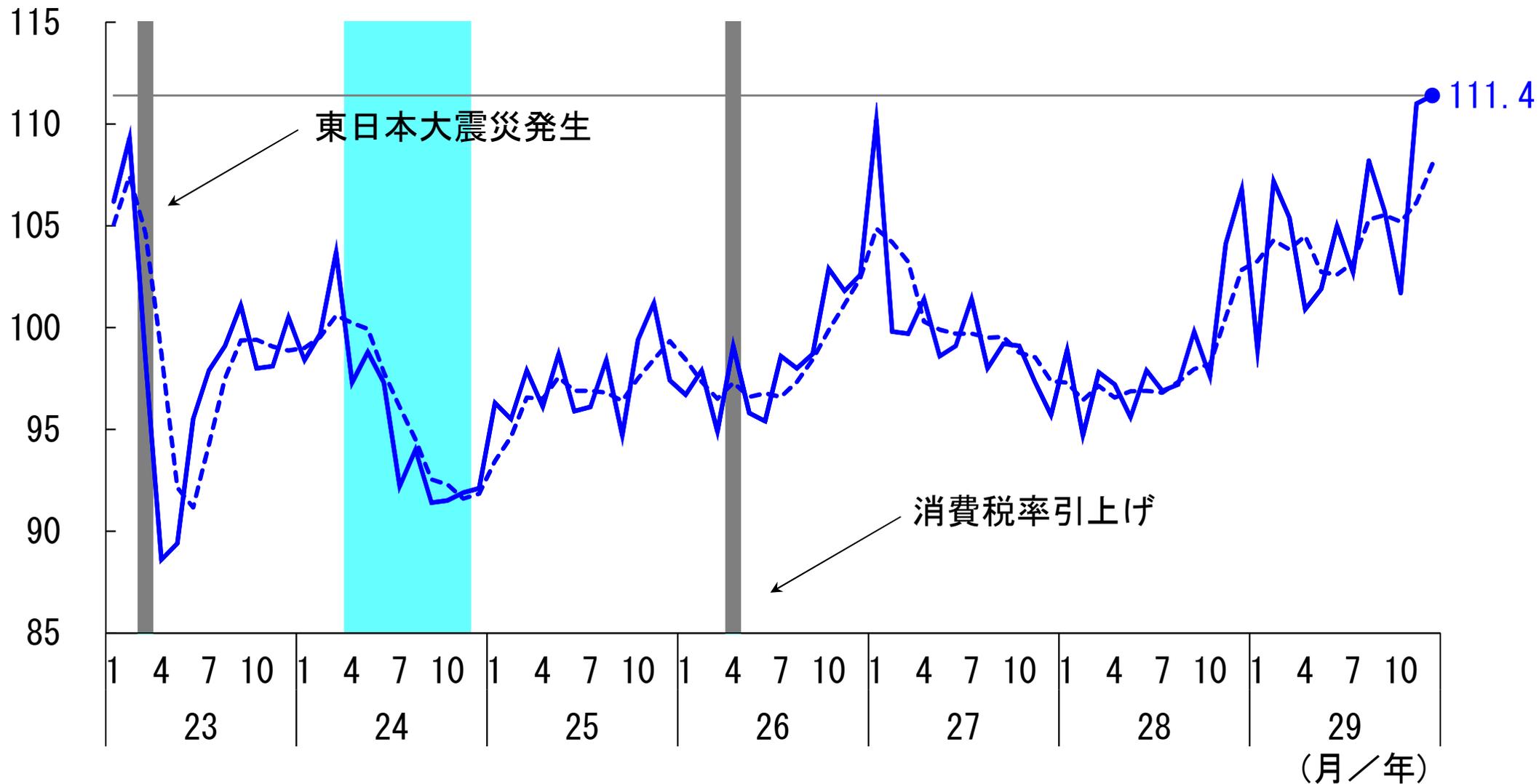


輸出向け出荷指数の動向

- ・平成29年12月の輸出向け出荷指数は111.4(前月比0.4%)と2か月連続の上昇。
- ・平成20年5月の115.4以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)

— 輸出向け出荷指数 - - - 3ヶ月後方移動平均

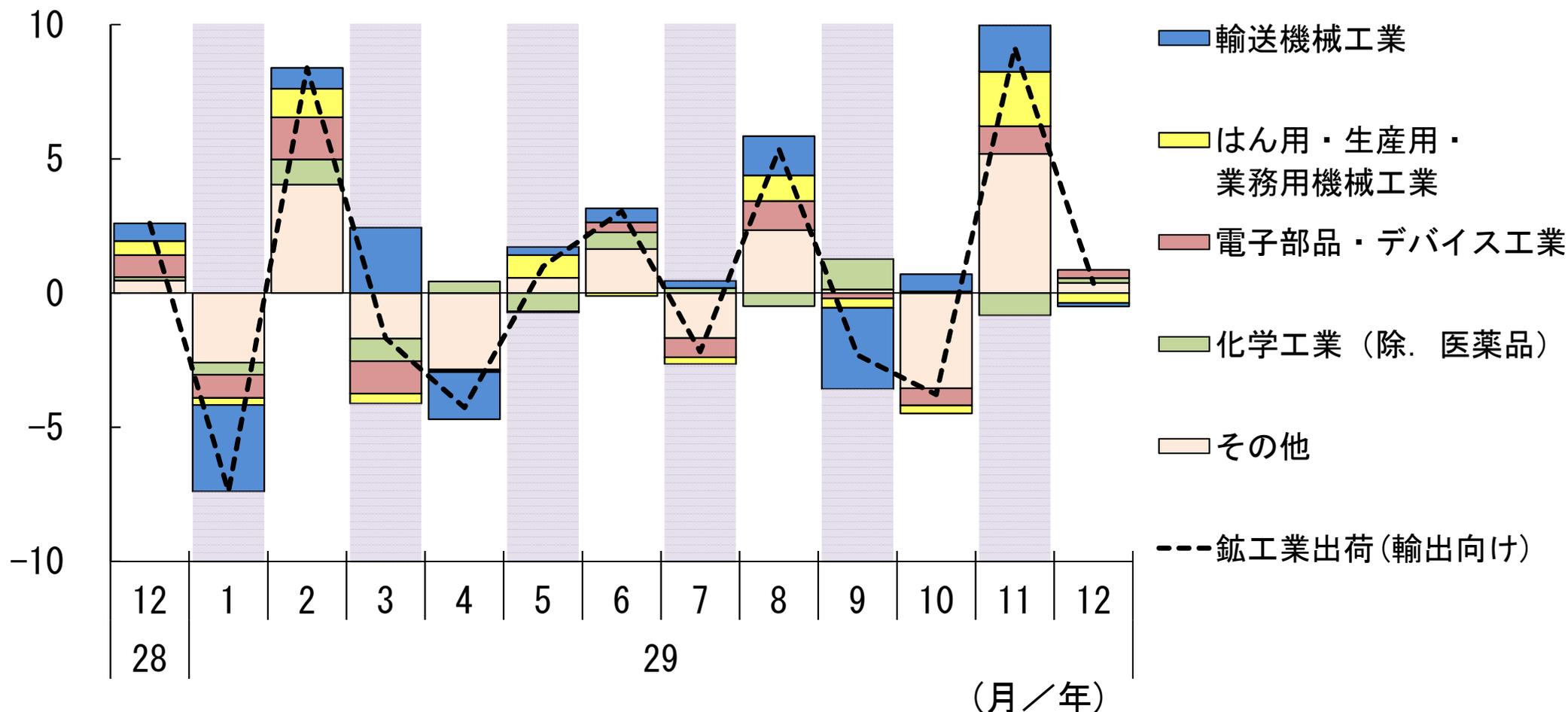


(注) 水色のシャド一部分は景気後退局面。

輸出向け出荷前月比 業種別の影響度合い

- 平成29年12月の輸出向け出荷を主要業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械工業などが低下したものの、電子部品・デバイス工業などが上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

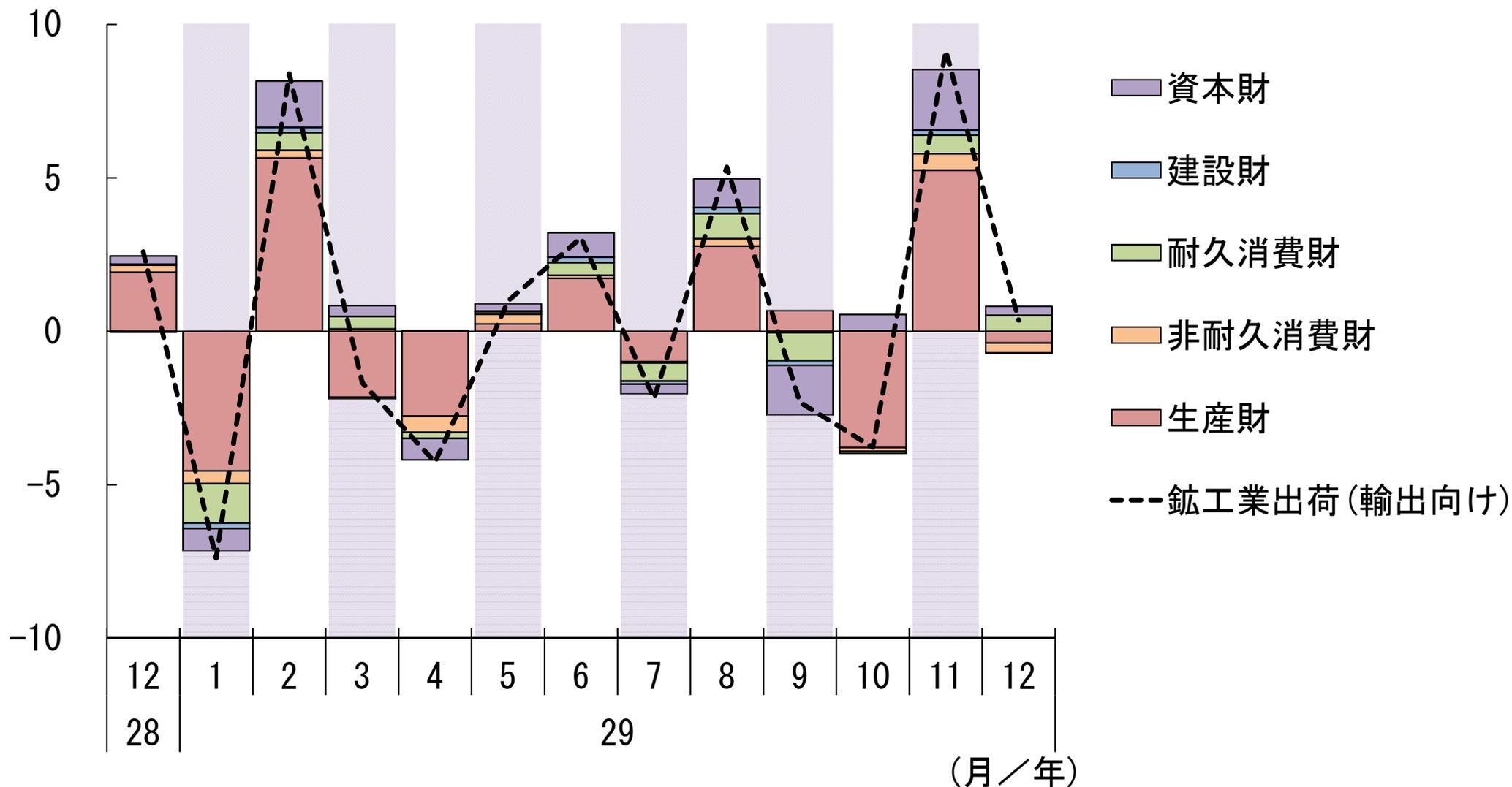


(注)主要業種とは、輸出向け出荷(ウエイト1971.49)のうち、ウエイトが大きい業種(上位4業種)を選定。
 具体的には、輸送機械工業(輸出向け、ウエイト560.52)、はん用・生産用・業務用機械工業(同、同289.48)電子部品・デバイス工業(同、同253.51)、化学工業(除. 医薬品)(同、同166.14)の4業種。

輸出向け出荷前月比 財別の影響度合い

- 平成29年12月の輸出向け出荷を財別にみると、生産財などが低下したものの、耐久消費財などが上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



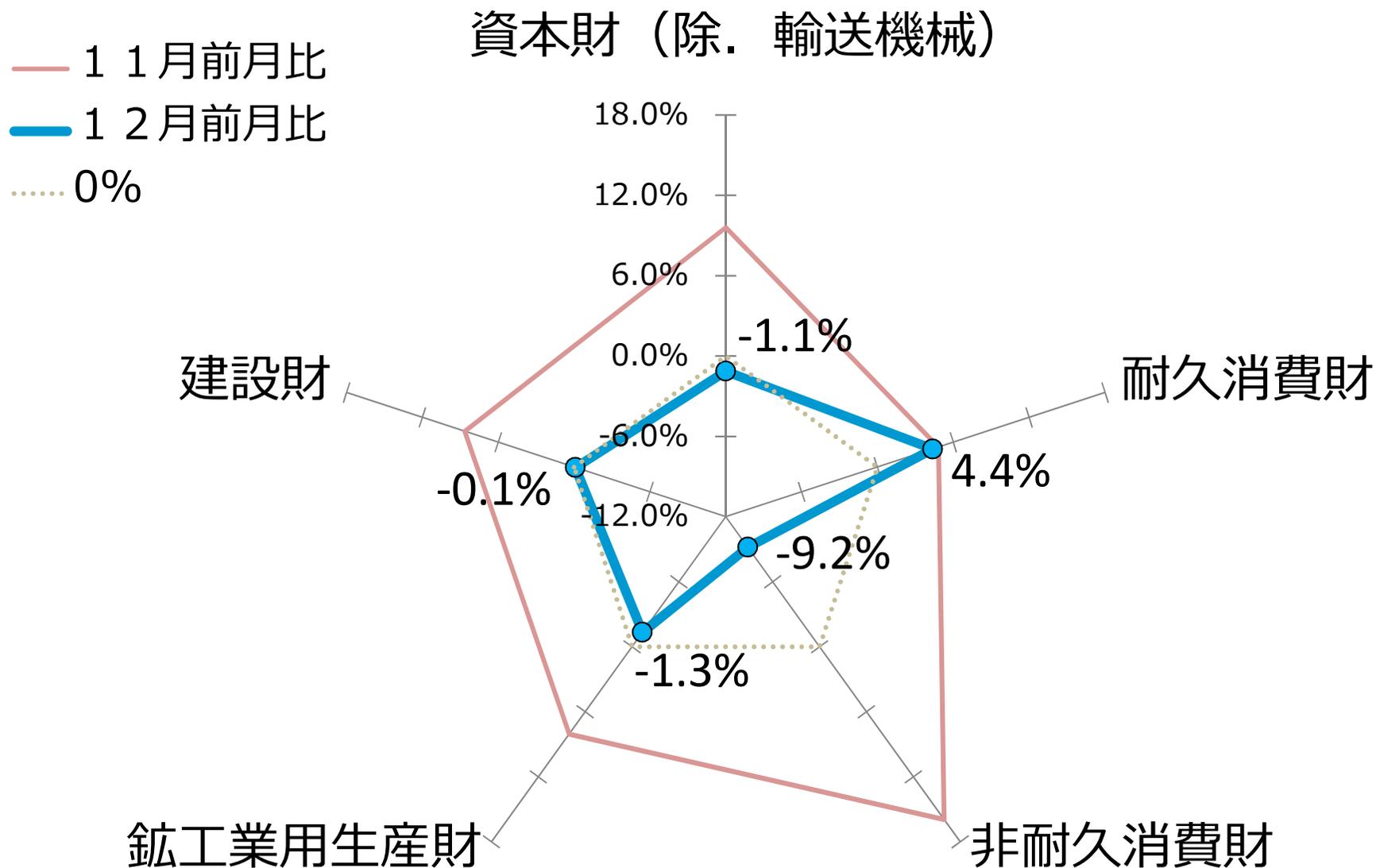
平成29年12月の輸出向け出荷前月比 財別・業種別の影響度合い

財別分類	前月比(%)	寄与率(%)
鉱工業	0.4	2.9
耐久消費財	4.4	4.3
輸送機械工業	5.2	4.2
情報通信機械工業	5.0	0.3
その他用生産財	10.3	2.8
石油・石炭製品工業	22.8	3.3
化学工業	16.6	0.5
建設財	-0.1	-0.0
鉄鋼業	-10.2	-0.3
はん用・生産用・業務用機械工業	-60.3	-0.2
資本財（除. 輸送機械）	-1.1	-1.5
はん用・生産用・業務用機械工業	-3.7	-3.8
非鉄金属工業	-58.8	-1.5
非耐久消費財	-9.2	-2.7
化学工業	-16.4	-2.8
パルプ・紙・紙加工品工業	-28.4	-0.2
鉱工業用生産財	-1.3	-6.2
輸送機械工業	-5.3	-5.3
非鉄金属工業	-9.0	-2.8

寄与率：出荷全体の変動に対して影響を及ぼした、財別・業種別の影響の度合い。全ての寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

(注)試算値。

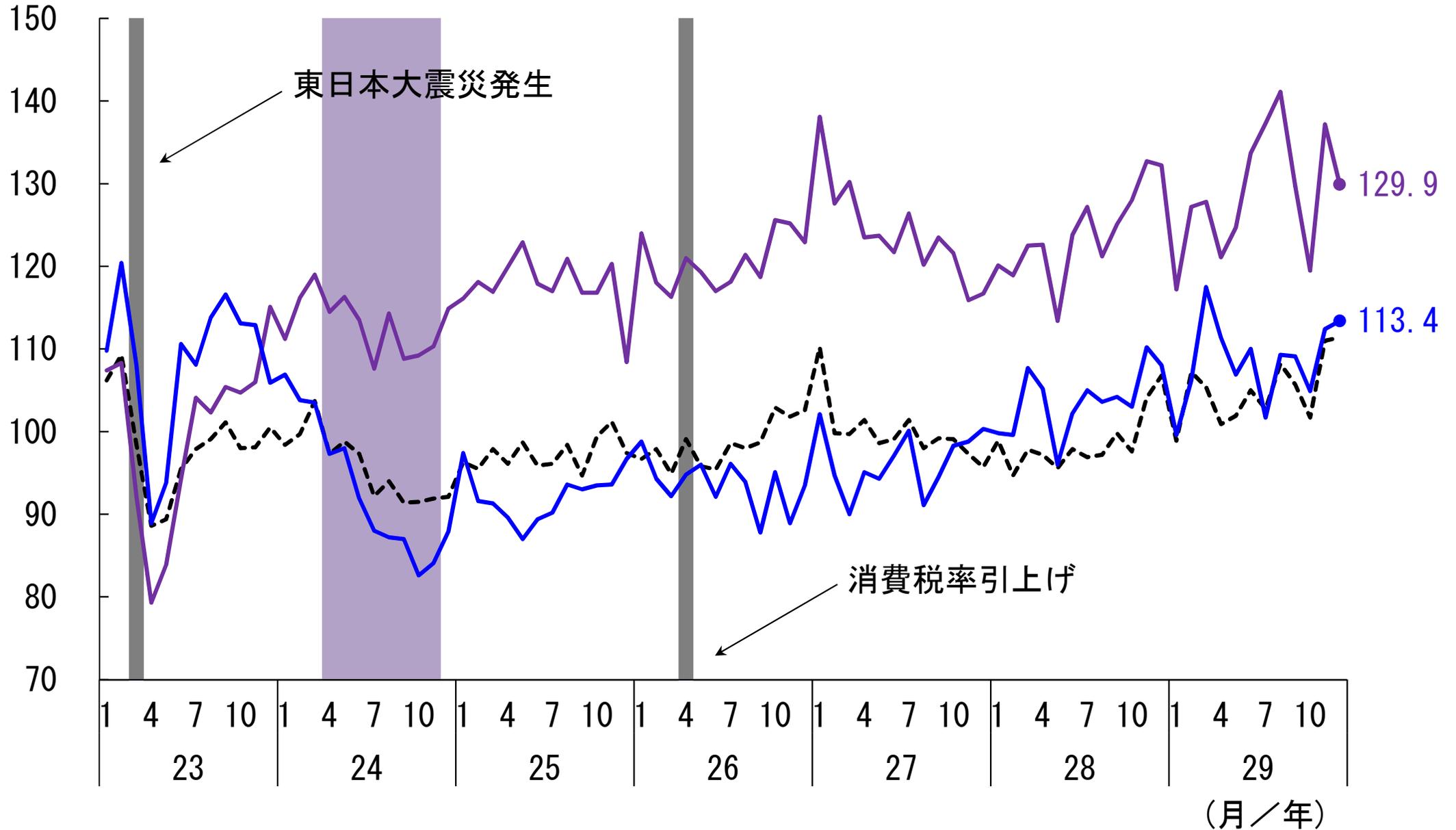
輸出向け財別出荷指数前月比の比較（平成29年11月、12月）



欧米向け出荷指数の動向

(22年=100、季節調整済)

--- 輸出向け出荷 — 米国向け — 欧州向け

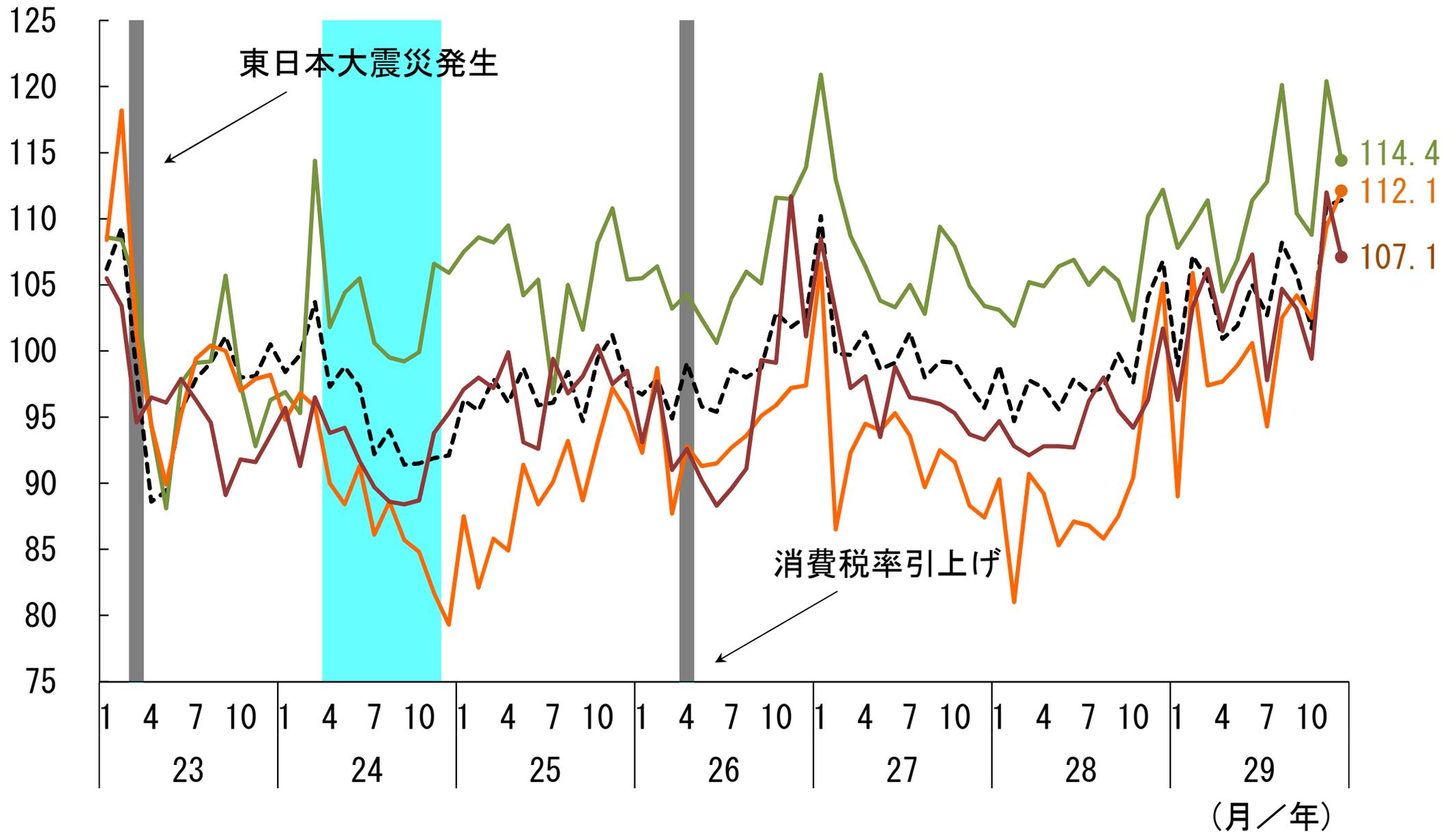


(注) 紫色のシャド一部分は、景気後退局面。

アジア向け出荷指数の動向

(22年=100、季節調整済)

--- 輸出向け出荷 — ASEAN向け — 中国向け — 韓国向け

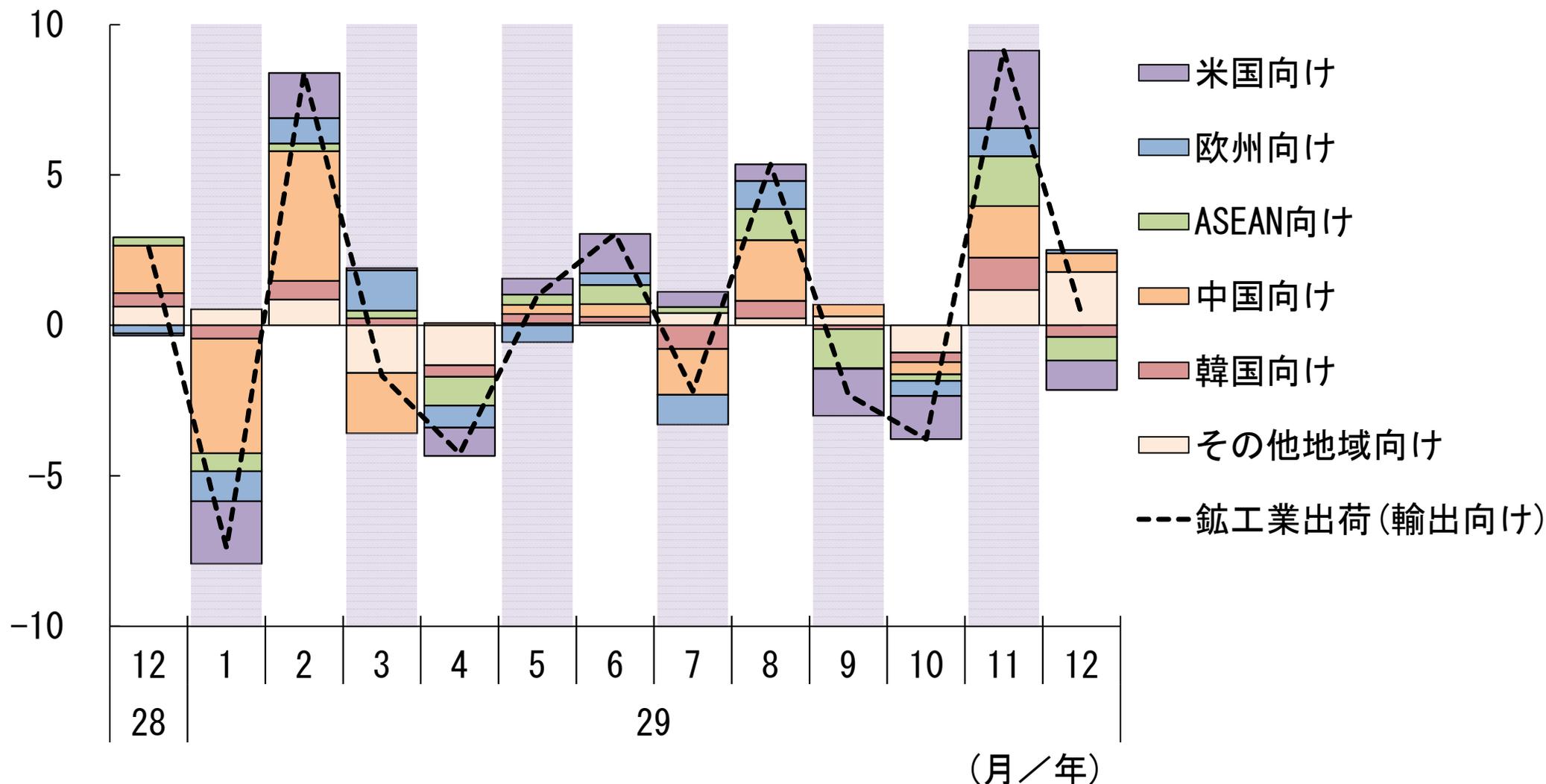


(注) 水色のシャド一部分は、景気後退局面。

輸出向け出荷前月比 地域別の影響度合い

- 平成29年12月の輸出向け出荷を、地域別にみると、米国向けなどが低下したものの、その他地域向けなどが上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



(注) 試算値。

主要4業種、財の出荷前月比 米国／中国向け出荷の影響度合い

業種別分類	輸出向け出荷 前月比 (%)	米国向け 寄与度 (%ポイント)	中国向け 寄与度 (%ポイント)
輸送機械工業	-0.5	-8.57	2.63
はん用・生産用・ 業務用機械工業	-2.1	-13.75	6.20
電子部品・デバイス工業	2.5	0.00	9.94
化学工業(除. 医薬品)	2.1	1.11	-5.53

財別分類	輸出向け出荷 前月比 (%)	米国向け 寄与度 (%ポイント)	中国向け 寄与度 (%ポイント)
鉱工業用生産財	-1.3	-7.06	1.60
資本財(除. 輸送機械)	-1.1	-6.46	9.49
建設財	-0.1	-2.83	5.77
耐久消費財	4.4	-4.57	1.67
耐久消費財のうち 乗用車・二輪車	5.4	-8.32	3.24
非耐久消費財	-9.2	-11.50	-6.97

(注) 米国と中国以外の地域への輸出も相当量あることから、米国向け出荷と中国向け出荷の寄与度を合計しても輸出向け出荷の前月比になるわけではない。
それぞれの寄与度は、輸出向け出荷全体に対する米国向け出荷と中国向け出荷の影響度合いの目安として示している。

平成29年12月の鉱工業総供給表の状況

総供給・国産品供給・輸入品供給

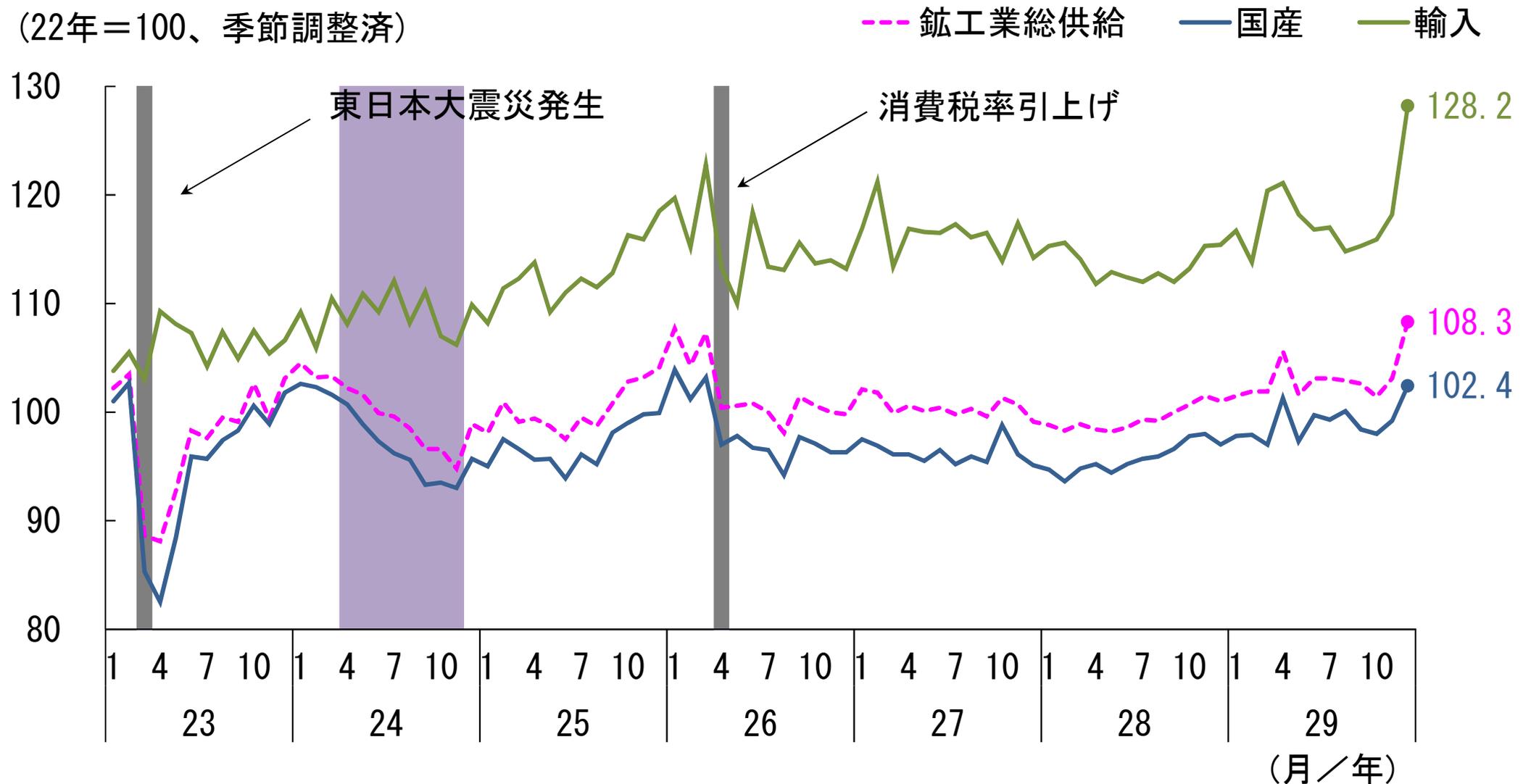
月次	総供給	国産	輸入
季調済指数 前月比	108.3 5.0%	102.4 3.2%	128.2 8.5%
指数水準	H20.7 111.3以来 I H20.3 117.5 II H20.2 117.4 III H20.1 116.6	H26.3 103.2以来 I H20.1 118.8 II H20.2,3 118.5 III H20.5 117.3	22年基準最高水準 I H29.12 128.2 II H26.3 122.8 III H27.2 121.2
前月比の動き	2か月連続+ (H29.11～当月)	2か月連続+ (H29.11～当月)	4か月連続+ (H29.9～当月)
前月比幅	H23.6 6.0%以来 I H23.6 6.0% II H23.5 5.2% III H29.12 5.0%	H29.4 4.4%以来 I H23.6 8.5% II H23.5 7.2% III H29.4 4.4%	22年基準最高水準 I H29.12 8.5% II H21.11 8.3% III H26.6 7.6%

(注) I～IIIは22年基準における最大値から上位3位までの数値

鉍工業総供給指数の動向

- ・平成29年12月の鉍工業総供給指数は108.3(前月比5.0%)と2か月連続の上昇。
- ・内訳をみると、国産は102.4(前月比3.2%)と2か月連続の上昇、輸入は128.2(前月比8.5%)と4か月連続の上昇。

(22年=100、季節調整済)



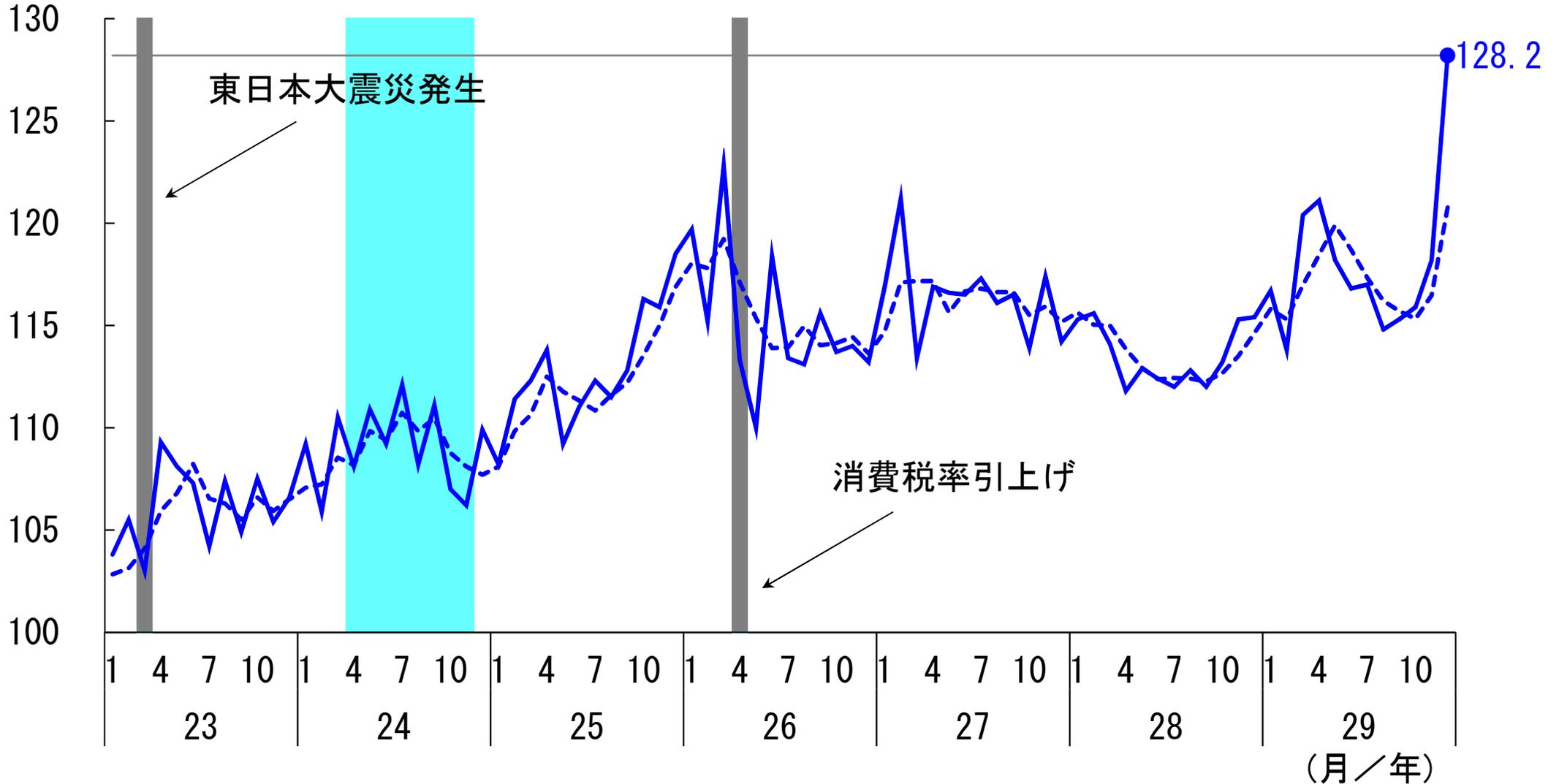
(注) 紫色のシャド一部分は景気後退局面。

輸入品供給指数の動向

- ・平成29年12月の輸入品供給指数は128.2(前月比8.5%)と4か月連続の上昇。
- ・平成22年基準で最高水準。

(22年=100、季節調整済)

— 輸入品供給指数 - - - 3ヶ月後方移動平均



(注)水色のシャド一部分は景気後退局面。

平成29年10-12月期の鉱工業出荷内訳表の状況

出荷・国内向け出荷・輸出向け出荷

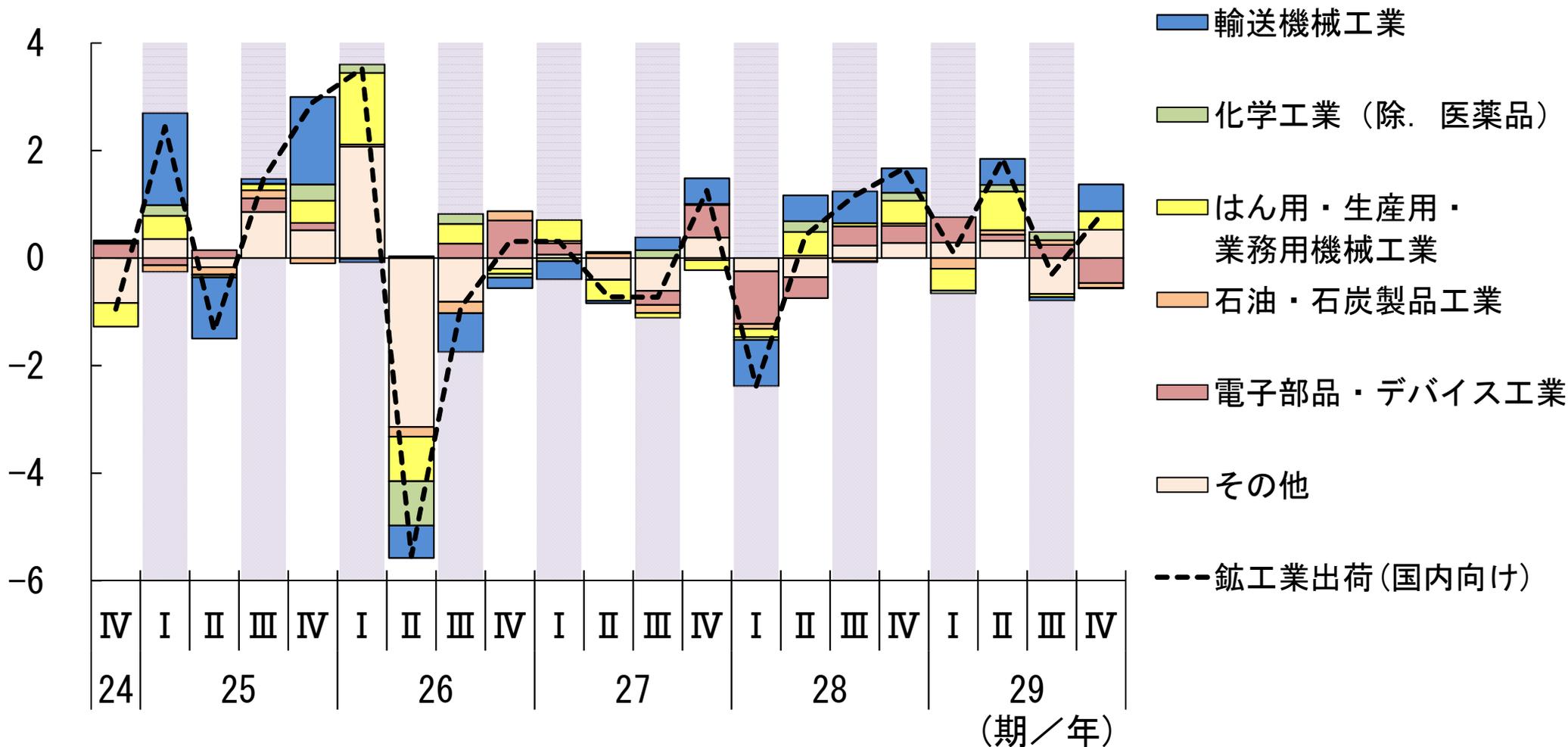
四半期	出 荷	輸 出	国 内
季調済指数	101.3	108.0	99.8
前期比	0.9%	2.4%	0.8%
指数水準	H26 I 101.7以来 I H20 I 118.2 II H20 II 115.0 III H20 III 109.4	H20 II 112.6以来 I H20 I 117.1 II H20 II 112.6 III H29 IV 108.0	H26 I 102.8以来 I H20 I 118.2 II H20 II 115.6 III H20 III 110.1
前期比の動き	3期連続+ (H29 II ~ 当期)	2期連続+ (H29 III ~ 当期)	2期ぶり+ (H29 II 以来)
前期比幅	H29 II 1.5%以来 I H23 III 9.0% II H21 IV 7.7% III H21 III 6.3%	H29 III 2.8%以来 I H21 IV 12.8% II H21 III 9.3% III H23 III 9.0%	H29 II 1.8%以来 I H23 III 9.1% II H21 IV 6.6% III H21 III 5.7%

(注) I ~ IIIは22年基準における最大値から上位3位までの数値

国内向け出荷前期比 業種別の影響度合い

- 平成29年10-12月期の国内向け出荷を主要業種別にみると、電子部品・デバイス工業などが低下したものの、輸送機械工業などが上昇。

(季節調整済、前期比、%、%ポイント)

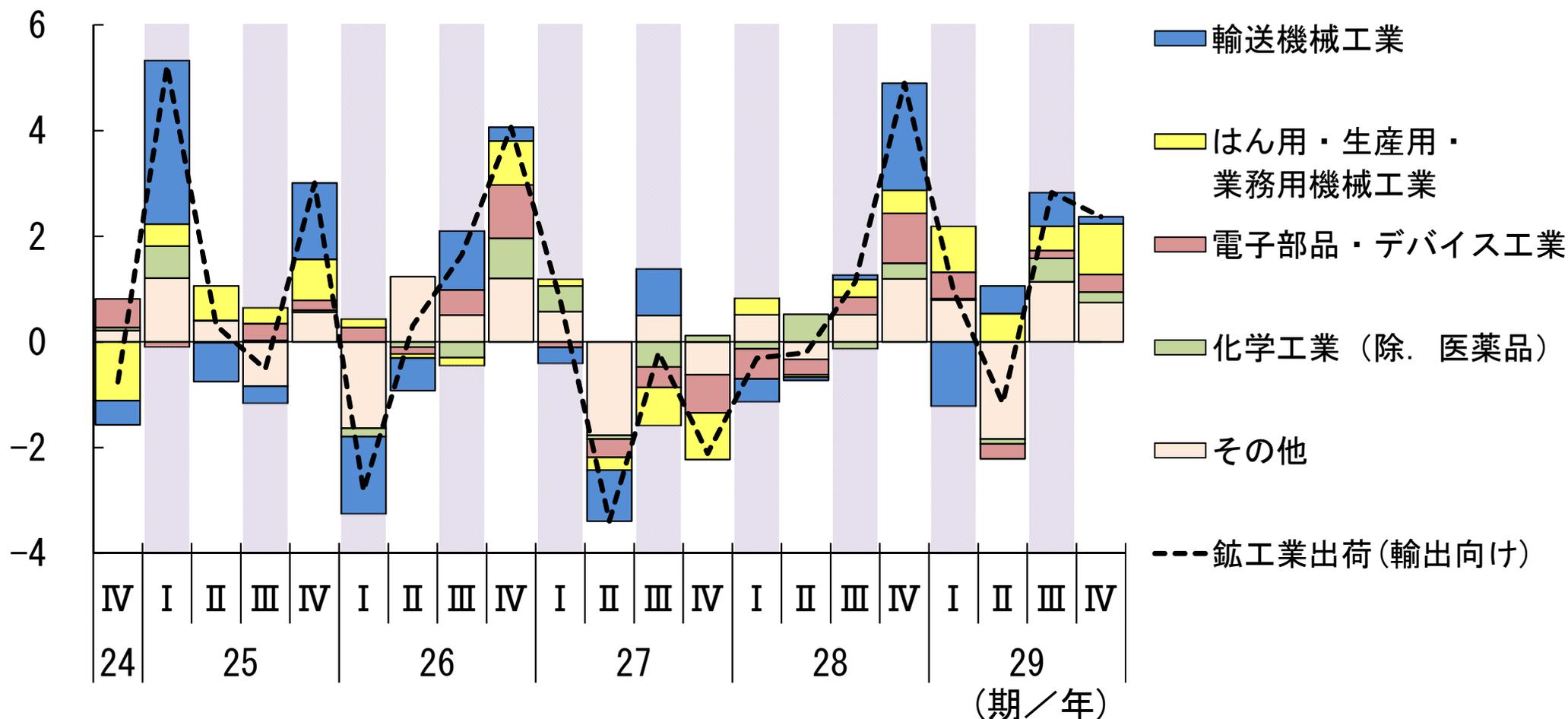


(注)主要業種とは、国内向け出荷(ウエイト8028.51)のうち、ウエイトが大きい5業種を選定。
 具体的には、輸送機械工業(国内向け、ウエイト1658.38)、はん用・生産用・業務用機械工業(同、同796.12)、化学工業(除. 医薬品)(同、同717.06)、石油・石炭製品工業(同、同574.89)、電子部品・デバイス工業(同、同457.59)。

輸出向け出荷前期比 業種別の影響度合い

- 平成29年10-12月期の輸出向け出荷を主要業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械工業などが上昇。

(季節調整済、前期比、%、%ポイント)



(注)主要業種とは、輸出向け出荷(ウエイト1971.49)のうち、ウエイトが大きい業種(上位4業種)を選定。
 具体的には、輸送機械工業(輸出向け、ウエイト560.52)、はん用・生産用・業務用機械工業(同、同289.48)、電子部品・デバイス工業(同、同253.51)、化学工業(除. 医薬品)(同、同166.14)の4業種。

平成29年の鉱工業出荷内訳表の状況

出荷・国内向け出荷・輸出向け出荷

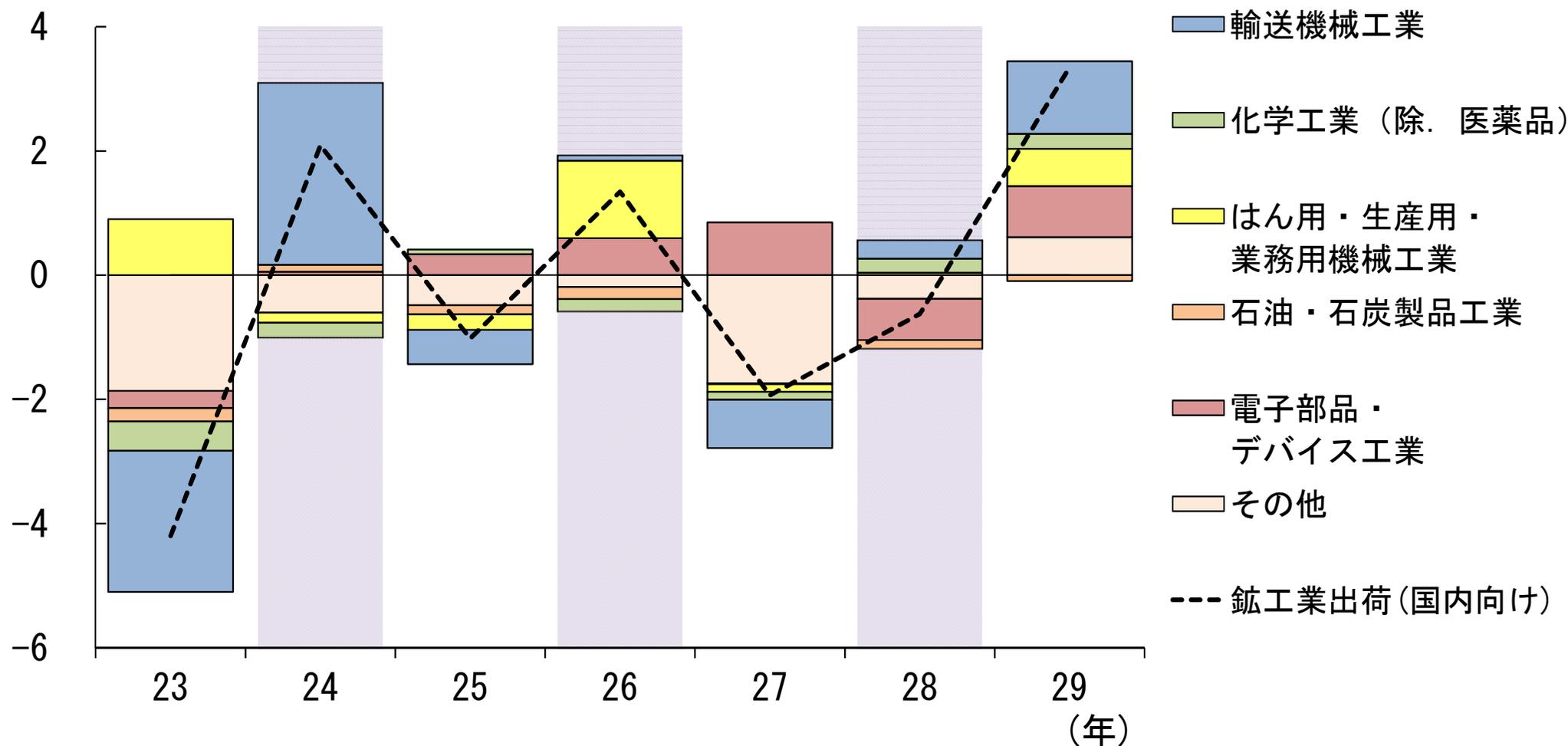
年次	出 荷	輸 出	国 内
原指数	100.0	105.1	98.8
前年比	3.8%	6.3%	3.3%
指数水準	H22 100.0以来 I H20 110.6 II H22, H29 100.0 III H26 98.2	H20 107.1以来 I H20 107.1 II H29 105.1 III H22 100.0	H22 100.0以来 I H20 111.5 II H22 100.0 III H29 98.8
前年比の動き	3年ぶり+ (H26以来)	2年ぶり+ (H27以来)	3年ぶり+ (H26以来)
前年比幅	H22 15.5%以来 I H22 15.5% II H29 3.8% III H26 1.3%	H22 25.8%以来 I H22 25.8% II H29 6.3% III H26 1.3%	H22 13.1%以来 I H22 13.1% II H29 3.3% III H24 2.1%

(注) I～Ⅲは22年基準における最大値から上位3位までの数値

国内向け出荷前年比 業種別の影響度合い

- 平成29年の国内向け出荷を主要業種別にみると、石油・石炭製品工業が低下したものの、輸送機械工業などが上昇。

(前年比、%、%ポイント)



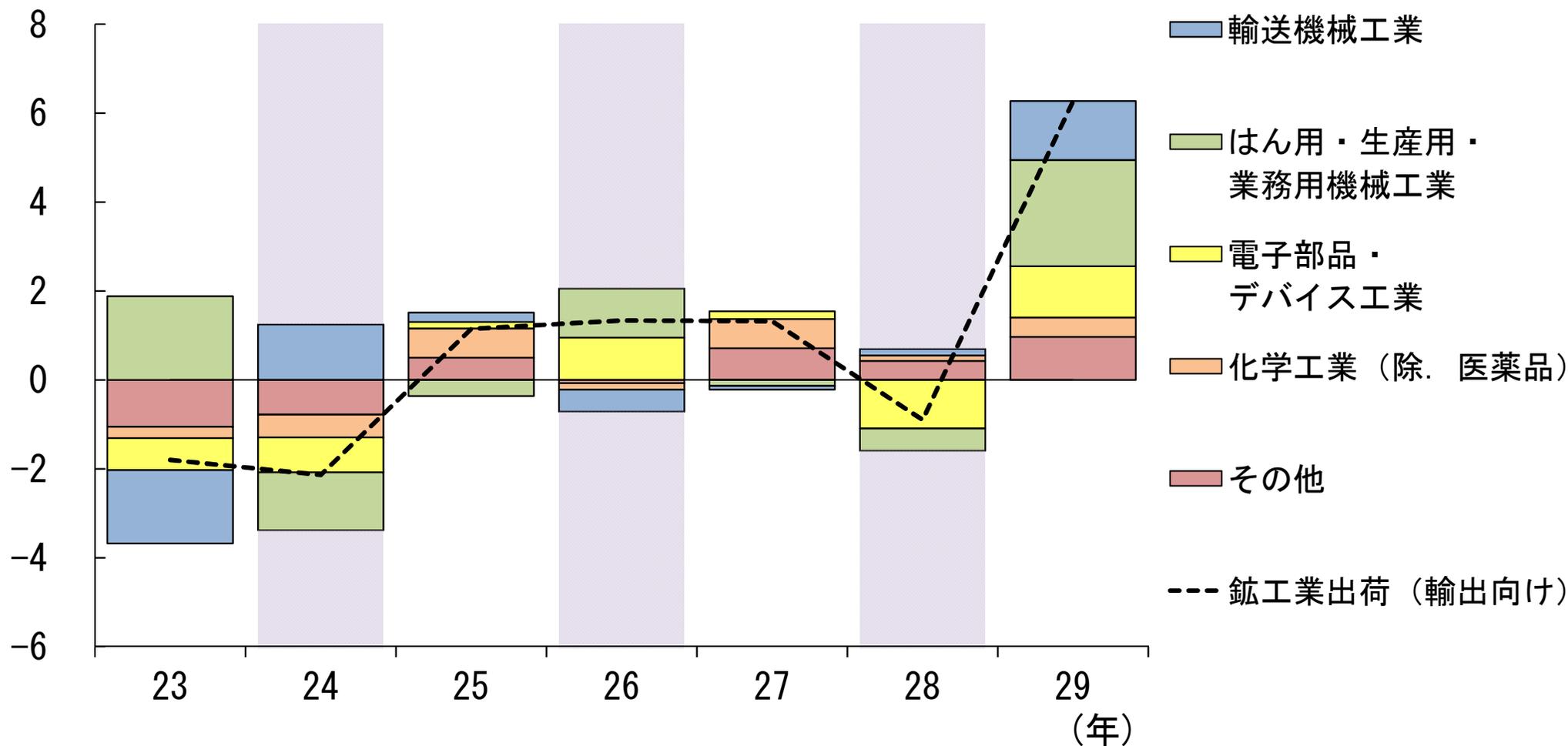
(注) 主要業種とは、国内向け出荷(ウエイト8028.51)のうち、ウエイトが大きい5業種を選定。

具体的には、輸送機械工業(国内向け、ウエイト1658.38)、はん用・生産用・業務用機械工業(同、同796.12)、化学工業(除. 医薬品)(同、同717.06)、石油・石炭製品工業(同、同574.89)、電子部品・デバイス工業(同、同457.59)。

輸出向け出荷前年比 業種別の影響度合い

- 平成29年の輸出向け出荷を主要業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械工業などが上昇。

(前年比、%、%ポイント)



(注)主要業種とは、輸出向け出荷(ウエイト1971.49)のうち、ウエイトが大きい業種(上位4業種)を選定。

具体的には、輸送機械工業(輸出向け、ウエイト560.52)、はん用・生産用・業務用機械工業(同、同289.48)、電子部品・デバイス工業(同、同253.51)、化学工業(除. 医薬品)(同、同166.14)の4業種。